

令和3年3月18日
(公財)横浜市緑の協会
よこはま動物園

ボウシテナガザル 赤ちゃん誕生！

令和3年1月13日(水)、よこはま動物園ズーラシアでボウシテナガザルの赤ちゃん(メス)が誕生しました。

出産後、しばらく様子を見ていましたが母親のコーリーが赤ちゃんに興味を示さなかったため、人工哺育で育てることとしました。

その後は順調に成長しており、生後2か月が経過した現在はミルクをよく飲み、ボウシテナガザル特有の歌うような鳴き声をあげています。赤ちゃんの名前は父親の出身地であるタイ語の「宝石」という意味の「プロイ」と名付けました。

公開日は3月22日(月)、26日(金)を予定しています。

詳細が決まり次第、公式ホームページ等でお知らせします。公開までの間は、ホームページ内のブログ「飼育日誌」で近況情報を公開していく予定です。

※動物の健康管理などにより中止となる場合がございます。



ボウシテナガザルの赤ちゃん(1月15日撮影)



お散歩中の赤ちゃん(2月23日撮影)



指定管理者：(公財)横浜市緑の協会

お問合せ先

よこはま動物園 副園長 久保 良法 Tel 045-959-1298

【参考資料】

■ 個体情報

父 親	愛称：ゴピット	平成 8 年 6 月 20 日生まれ
母 親	愛称：コーリー	平成 21 年 9 月 14 日生まれ
子 (メス)	愛称：プロイ	令和 3 年 1 月 13 日生まれ

■ ボウシテナガザルについて

和 名	ボウシテナガザル
英 名	Pileated Gibbon
学 名	<i>Hylobates pileatus</i>
分 類	霊長目 テナガザル科
分 布	タイ東部、カンボジア
生 態	熱帯雨林の高い木の上で、家族単位で生活しています。主食は果物や木の葉などです。雌は体が銀灰色で胸と頭が黒く、雄は四肢の先と顔の周り以外は真っ黒で、雌とは全く違う色をしています。頭頂部の毛が帽子をかぶっているように見えることが名前の由来と言われています。毎朝、数キロ先まで聞こえるような大きな声で 15 秒程度の鳴き交わしを繰り返し行いますが、この時の歌声も雌雄で全く異なります。森林伐採などによって数が減り、テナガザル類の中で最も絶滅が心配されているものの一つです。
ワシントン条約 (CITES)	附属書 I :絶滅のおそれのある種で取引による影響を受けている又は受けるおそれのあるもの
国際自然保護連合 (IUCN) レッドリスト	絶滅危惧 I B 類 (EN) 近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
当園飼育頭数	5 頭 (オス 2 頭、メス 3 頭) ※今回生まれた子を含む
国内飼育園館	3 園館 14 頭 (オス 7 頭、メス 7 頭) ※令和 2 年 1 月末現在

■ よこはま動物園ズーラシアについて

- ◆ 入 園 料：大人 800 円、中人・高校生 300 円、小・中学生 200 円、小学生未満無料
毎週土曜日は高校生以下無料 (要学生証等)
よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート 18 歳以上 2,000 円
- ◆ 開園時間：9:30~16:30 (入園は 16:00 まで)
- ◆ 休 園 日：毎週火曜日 (祝・休日の場合は開園し、翌日休園) 3/24~5/10 まで無休
- ◆ 交 通：相鉄線「鶴ヶ峰」「三ツ境」駅、JR 横浜線・横浜市営地下鉄「中山」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 15 分、「横浜」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 1 時間
- ◆ U R L：<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>
- ◆ 住 所：横浜市旭区上白根町 1175-1
- ◆ 問合せ先：045-959-1000

※よこはま動物園ズーラシアでは、ご来園の皆様へ下記の点について、お願いしております。

- ・土日祝日の入園には、整理券の事前予約が必要となります。
- ・1日の入園者数を8千人程度に制限します。
- ・発熱や咳等の症状のある方はご来園をお控えください。

その他詳細はホームページをご確認ください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、皆様のご理解とご協力をお願いします。